

私はこくばんであります

尋五 藤川吉郎

私はこくばんであります。あるさしもの屋で私等の仲間をくしらへて墨をぬりました。そうして學校に持つて来まして教室のかべにつるし上げました。そうして夜になつても私と机とは室におかれしました。あかるくなるとだん／＼子供が二三人とききました。ある時などは朝早く来た者は私の所に來てはくぼくをとつていたづら書きなどとしていききました。また時間になると先生は算術を書いたり字をかいいたりします。それを見て子供も書きます。私は見てみると先生にしかかれて赤い顔をしてゐる子供もありました。またきかなくしておそくまで私の前に立たせられた子供もありました。正直で先生の言ふ事をよくきいていつもほめられる子供もあったのです。ある時などは先生のゐない時にたつて人の所にいたづらなどしてあらく子供もありました。その子供は後から立たせられてゐました。私はこういうふうな今日見てみるとこれを十人十色のやうに思ひます。それで顔のちがうやうに心持ちがちがひます。ある日私の前に一人の子供が來てあつちを見たりこつちを見たけりしてはくぼくを持つて來てきづをつけ、ばたばたと私の所をうっていききました。その時はたいそう苦しくありました。